

今後の地域会議の 運営について

運営事務局会議 地域会議PT

(内本町障がい者相談支援センター、千里山・佐井寺
障がい者相談支援センター、障がい福祉室)

現在の運営の課題

- ① 地域会議の目的である地域課題の抽出について、抽出方法が多数あり、また多角的な検証を行うこともあることから、抽出のための負担が大きくなり過ぎている。
- ② 地域自立支援協議会と連動した運営ができていない。地域会議で解決への道筋まで展開することもあり、地域会議の役割が大きくなり過ぎている。
- ③ 地域会議の結果内容を効果的・効率的に反映できるような業務フローができていない。

地域会議の目的

- ①地域課題の抽出
- ②関係機関等のネットワークの体制整備
- ③社会資源の現状分析や評価

※①地域課題の抽出方法（現在のマニュアルより）

ア、地域アセスメント イ、センターの相談件数
ウ、懇談会 エ、当事者会へ意見聴取 オ、アンケート調査

まずは、②関係機関等のネットワークの体制整備を主目的とし、地域課題の抽出や社会資源の現状分析・評価は運営事務局会議等と連携して行う。

課題解消に向けて

- ① 地域会議の目的を整理し、地域課題の抽出方法の効率化を図る。
- ② 地域会議と地域自立支援協議会が連動し、地域会議での内容が全体的に浸透できる仕組みづくりを行う。
- ③ 今までの業務フローを見直し、新たなフローを構築する。

今後の地域会議の運営方法

④ ③結果を全体会にて報告、各ブロックへ展開



③ 運営事務局会議等で地域課題解消施策検討



② 運営事務局会議で各ブロックの地域課題集約



① 各ブロック（センター）ごとに地域会議開催

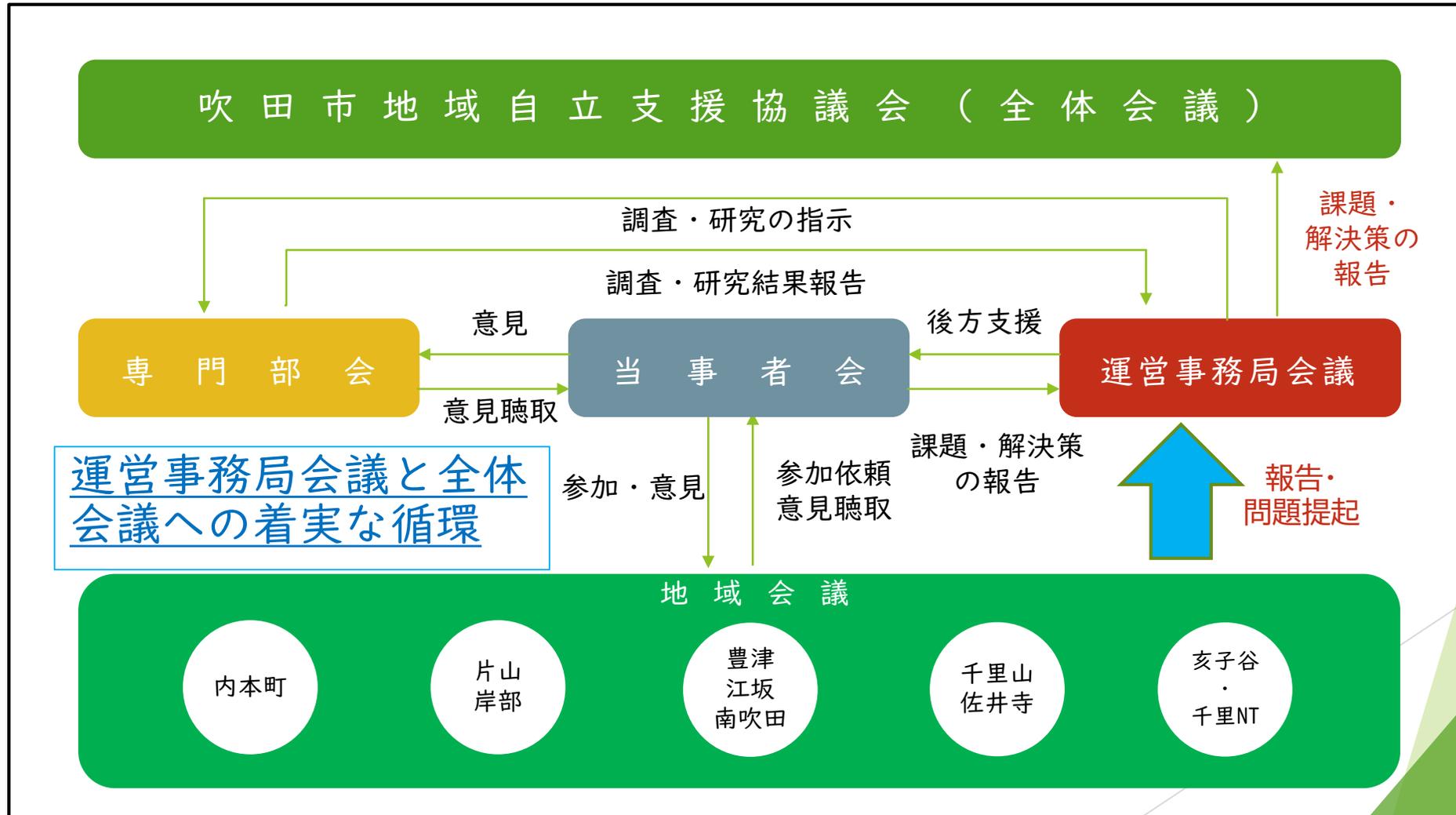
- ・ 課題抽出方法を任意に選択
- ・ 共通の地域課題シートを活用

循環を続ける
ことで、

▶ 地域コミュニティの醸成

▶ 地域課題を
着実に解消

吹田市地域自立支援協議会の概要図



地域課題・解決策の情報共有

吹田市社会福祉審議会
障がい者施策推進専門分科会

福祉計画の策定・変更時に意見を求める